介護予防・日常生活圏域ニーズ調査

報告書【概要版】

令和５年１０月

登別市保健福祉部高齢・介護グループ

調査の概要

１．調査の目的

当該調査は、第９期登別市高齢者保健福祉計画及び介護保険事業計画（令和６年度から令和８年度までの３か年計画）の策定に向けた基礎資料を得ることを目的とする。

２．調査対象

令和５年３月１日現在で、市内在住の市民のうち、６５歳以上の介護認定を受けていない方、要支援１・２の方及び事業対象者

３．抽出方法

上記の調査対象を、３つの日常生活圏域、年齢区分別（前期高齢者（６５～７４歳）、後期高齢者（７５歳以降））、男女別に人口比率に応じ、無作為に２，０００名を抽出

４．調査内容

厚生労働省が示す「介護予防・日常生活圏域ニーズ調査」調査票の必須項目３５項目、オプション項目２８項目及び市独自項目１２項目の計７５項目を使用

５．調査方法

郵送による配布・回収

６．調査期間

令和５年３月３１日～４月３０日

７．回収状況

配布数　　　２，０００件
有効回答数　１，５３１件　　　有効回答率　　７６．６％

８．集計（回答率）について

回答率（％）は、小数点第２位以下を四捨五入しているため、比率の合計が１００％にならない場合がある。また、回答が複数にわたる質問項目があり、母数より多くなる場合がある。

９．回答者の属する地区の集約について

次の３つの日常生活圏域に分けて集計している。

日常生活圏域	町名
登別西部	新生町、栄町、若草町、鷲別町、美園町、上鷲別町
登別中部	柏木町、富士町、片倉町、新川町、鉱山町、桜木町、川上町、青葉町、緑町、大和町、若山町、富岸町
登別東部	カルルス町、上登別町、登別温泉町、中登別町、登別東町、登別本町、登別港町、札内町、富浦町、新栄町、幸町、千歳町、幌別町、来馬町、常盤町、中央町

１０．介護予防・日常生活圏域ニーズ調査　回答者の属性等

（単位：人）

属性	全体件数		有効回答件数	状態区分			地区区分		
				一般高齢者	要支援１	要支援２	登別東部	登別中部	登別西部
男女計	15,256			13,845	816	595	4,312	5,006	5,938
			1,531 (100%)	1,398 (100%)	91 (100%)	42 (100%)	426 (100%)	526 (100%)	579 (100%)
	65-69 歳	3,166	323 (21.1%)	321 (23.0%)	2 (2.2%)	0 (0.0%)	89 (20.9%)	96 (18.3%)	138 (23.8%)
	70-74 歳	4,276	446 (29.1%)	432 (30.9%)	9 (9.9%)	5 (11.9%)	119 (27.9%)	160 (30.4%)	167 (28.8%)
	75-79 歳	3,325	285 (18.6%)	270 (19.3%)	9 (9.9%)	6 (14.3%)	73 (17.1%)	109 (20.7%)	103 (17.8%)
	80-84 歳	2,542	267 (17.5%)	225 (16.1%)	31 (34.0%)	11 (26.2%)	76 (17.9%)	91 (17.3%)	100 (17.3%)
	85-89 歳	1,354	150 (9.8%)	113 (8.1%)	25 (27.5%)	12 (28.6%)	50 (11.7%)	50 (9.5%)	50 (8.7%)
	90 歳以上	593	60 (3.9%)	37 (2.6%)	15 (16.5%)	8 (19.0%)	19 (4.5%)	20 (3.8%)	21 (3.6%)
男性	65-69 歳	1,537	117	116	1	0	32	31	54
	70-74 歳	1,955	207	200	6	1	46	83	78
	75-79 歳	1,448	120	116	2	2	33	40	47
	80-84 歳	1,110	123	111	8	4	31	51	41
	85-89 歳	512	63	54	6	3	17	24	22
	90 歳以上	189	22	18	3	1	7	6	9
	計	6,751	652	615	26	11	166	235	251
女性	65-69 歳	1,629	206	205	1	0	57	65	84
	70-74 歳	2,321	239	232	3	4	73	77	89
	75-79 歳	1,877	165	154	7	4	40	69	56
	80-84 歳	1,432	144	114	23	7	45	40	59
	85-89 歳	842	87	59	19	9	33	26	28
	90 歳以上	404	38	19	12	7	12	14	12
	計	8,505	879	783	65	31	260	291	328

調査内容の結果【概要】

１　運動器機能、身体機能等

（単位：％）

	年齢区分	全圏域	登別東部	登別中部	登別西部
運動器機能リスク高齢者 （階段を手すりや壁をつたわらずに昇れない、椅子に座った状態から何もつかまらずに立ち上がれない、１５分位続けて歩けない、過去１年間に転んだ経験がある、転倒に対する不安が多いの５つの問いに３問以上該当する高齢者の割合）	65-74 歳	8.3	8.7	7.8	8.5
	75 歳以上	25.3	28.0	22.6	25.9
	高齢者全体	16.8	18.5	15.4	16.8
低栄養リスク高齢者 （ＢＭＩが１８．５より少ない高齢者の割合）	65-74 歳	4.7	4.8	4.3	4.9
	75 歳以上	7.2	5.5	9.6	6.2
	高齢者全体	5.9	5.2	7.0	5.5
咀嚼機能リスク高齢者 （半年前に比べて固いものが食べにくい、お茶や汁物等でむせることがある、口の渇きが気になるの３つの　問いに２問以上「はい」と回答した高齢者の割合）	65-74 歳	24.8	27.9	23.4	23.9
	75 歳以上	30.6	33.5	31.5	27.4
	高齢者全体	27.7	30.8	27.6	25.6
閉じこもりリスク高齢者 （週に１回以上は外出しているかの問いに「ほとんど外出しない」「週１回」と回答した高齢者の割合）	65-74 歳	17.0	19.2	18.8	14.1
	75 歳以上	34.3	37.2	32.6	33.6
	高齢者全体	25.6	28.4	25.9	23.3
認知症リスク高齢者 （物忘れが多いと感じるかの問いに「はい」と回答した高齢者の割合）	65-74 歳	38.8	43.3	35.2	38.7
	75 歳以上	47.2	50.5	45.6	46.4
	高齢者全体	43.0	46.9	40.5	42.3
うつリスク高齢者 （この１か月間、気分が沈んだり、ゆううつな気持ちになったりすることがある、どうしても物事に対して興味がわかない、あるいは心から楽しめない感じがよくあったかの問いに「はい」と回答した高齢者の割合）	65-74 歳	35.6	33.2	34.0	38.7
	75 歳以上	45.8	43.6	47.0	46.4
	高齢者全体	40.7	38.5	40.7	42.3

ＩＡＤＬが低い高齢者 （バスや電車を使って１人で外出できるか、自分で食品・日用品の買物ができるか、自分で食事の用意ができるか、自分で請求書の支払いができるか、自分で預貯金の出し入れができるかの５つの問いに３問以上「できない」と回答した高齢者の割合）	65-74 歳	5.7	3.8	5.9	6.9
	75 歳以上	13.5	10.6	13.7	15.7
	高齢者全体	9.6	7.3	9.9	11.1
転倒リスク高齢者 （過去１年間に転んだ経験があるかの問いに「はい」と回答した高齢者の割合）	65-74 歳	30.8	29.8	31.6	30.8
	75 歳以上	38.1	39.0	37.8	37.6
	高齢者全体	34.4	34.5	34.8	34.0

運動器機能・身体機能等の項目の中で、３割以上が該当するリスク等は、認知症リスク高齢者、うつリスク高齢者、転倒リスク高齢者であり、一番多かったのが認知症リスク高齢者であった。

日常生活圏域別に見ると、大きな違いは見られないが、登別東部の割合が多い傾向にあった。

２　社会参加

（単位：％）

	年齢区分	全圏域	登別東部	登別中部	登別西部
ボランティアに参加している高齢者 （ボランティアのグループに参加している高齢者の割合）	65-74 歳	9.0	8.7	9.8	8.5
	75 歳以上	9.7	9.6	10.0	9.5
	高齢者全体	9.3	9.2	9.9	9.0
スポーツ関係のグループに参加している高齢者 （スポーツ関係のグループやクラブに参加している高齢者の割合）	65-74 歳	18.2	16.8	14.5	22.3
	75 歳以上	14.6	13.8	13.0	16.8
	高齢者全体	16.4	15.3	13.7	19.7
趣味関係のグループに参加している高齢者 （趣味関係のグループに参加している高齢者の割合）	65-74 歳	21.2	19.2	18.0	25.2
	75 歳以上	20.1	16.1	22.2	21.2
	高齢者全体	20.6	17.6	20.2	23.3

学習・教養サークルに参加している高齢者 （学習・教養サークルにに参加している高齢者の割合）	65-74 歳	4.2	2.9	4.3	4.9
	75 歳以上	4.9	3.7	5.9	4.7
	高齢者全体	4.5	3.3	5.1	4.8
地域づくりへの参加意向のある高齢者 （地域住民の有志によって、健康づくり活動や趣味等のグループ活動を行って、いきいきした地域づくりを進めるとした場合、その活動に参加者として参加したい高齢者の割合）	65-74 歳	51.1	53.4	44.5	55.1
	75 歳以上	43.0	44.0	41.9	43.4
	高齢者全体	47.1	48.6	43.2	49.6
地域づくりへの企画・運営（お世話役）としての参加意向のある高齢者 （地域住民の有志によって、健康づくり活動や趣味等のグループ活動を行って、　いきいきした地域づくりを進めるとした場合、その活動に企画・運営（お世話役）として参加したい高齢者の割合）	65-74 歳	28.3	31.7	28.5	25.9
	75 歳以上	28.3	33.5	25.6	27.0
	高齢者全体	28.3	32.6	27.0	26.4

社会参加の項目の中で、最も高い割合だったのが地域づくりへの参加意向のある高齢者で５割弱であり、最も低い割合だったのが学習・教養サークルに参加している高齢者で１割を下回った。

日常生活圏域別に見ると、大きな違いは見られないが、登別西部の割合が多い傾向にあった。

（単位：％）

	支援したい活動内容									
	買物	掃除	洗濯	調理	ゴミ出し	外出	通院	除雪	草刈	その他
地域の高齢者を支援したいと考えている高齢者の割合	5.9	4.1	1.7	2.5	6.7	3.3	2.8	4.9	3.9	2.0

地域の高齢者を支援する活動に参加したいと考えている高齢者の割合は２５．６％であり、そのうち参加してみたい支援活動は、ゴミ出し、買物、除雪の順で多かった。

３　暮らしの状況

（単位：％）

	年齢区分	全圏域	登別東部	登別中部	登別西部
独居高齢者 （家族構成の問で１人暮らしと回答した高齢者の割合）	65-74 歳	15.6	18.8	13.7	15.1
	75 歳以上	26.0	28.9	24.1	25.5
	高齢者全体	20.8	23.9	19.0	20.0

夫婦２人暮らし（配偶者６５歳以上）世帯 （家族構成の問で夫婦２人暮らし（配偶者６５歳以上）と回答した高齢者の割合）	65-74 歳	59.0	58.7	61.7	57.0
	75 歳以上	48.6	44.0	51.9	48.9
	高齢者全体	53.8	51.2	56.7	53.2
持家がある高齢者（単身高齢者世帯） （１人暮らしで、一戸建ての持家に住んでいる高齢者の割合）	65-74 歳	10.4	10.6	9.0	11.5
	75 歳以上	20.5	16.5	20.7	23.4
	高齢者全体	15.4	13.6	15.0	17.1
持家がある高齢者（高齢者夫婦のみ世帯） （夫婦２人暮らし（配偶者６５歳以上）で、一戸建ての持家に住んでいる高齢者の割合）	65-74 歳	51.6	51.4	50.4	52.8
	75 歳以上	44.4	39.9	45.6	46.7
	高齢者全体	48.0	45.5	47.9	49.9
配食ニーズがある高齢者 （自分で食事の用意をしてるかの問いに「できない」と回答した高齢者の割合）	65-74 歳	3.1	2.4	4.3	2.6
	75 歳以上	9.3	6.4	9.6	11.3
	高齢者全体	6.2	4.5	7.0	6.7
買い物ニーズがある高齢者 （自分で食品･日用品の買物をしているかの問いに「できない」と回答した高齢者の割合）	65-74 歳	2.0	2.4	2.0	1.6
	75 歳以上	5.8	5.0	5.2	6.9
	高齢者全体	3.9	3.8	3.6	4.1
現在の暮らしが苦しい高齢者 （現在の暮らしの状況を経済的に見てどう感じるかの問いに「大変苦しい」「やや苦しい」と回答した高齢者の割合）	65-74 歳	39.1	38.5	37.1	41.3
	75 歳以上	35.7	43.6	31.9	33.2
	高齢者全体	37.4	41.1	34.4	37.5

暮らしの状況では、独居高齢者よりも夫婦２人暮らし（配偶者６５歳以上）世帯が多く、一戸建ての持家がある高齢者は、夫婦２人暮らし（配偶者６５歳以上）世帯に多い傾向であった。

また、４割弱の高齢者が、経済的に見て現在の暮らしが苦しいと感じていた。

なお、配食ニーズ及び買い物ニーズについては、いずれも１割を下回っていた。

日常生活圏域別に見ると、大きな違いは見られないものの、各調査結果にばらつきがあった。

４　対人関係等

（単位：％）

	年齢区分	全圏域	登別東部	登別中部	登別西部
情緒的サポートをくれる相手がいない高齢者 （あなたの心配事や愚痴を聞いてくれる人がいるかの問いに「いない」と回答した高齢者の割合）	65-74 歳	4.4	4.3	6.3	3.0
	75 歳以上	4.7	7.3	4.4	2.9
	高齢者全体	4.6	5.9	5.3	2.9

情緒的サポートを与える相手がいない高齢者 （あなたが心配事や愚痴を聞いてあげる人がいるかの問いに「いない」と回答した高齢者の割合）	65-74 歳	4.7	4.8	7.0	2.6
	75 歳以上	8.0	10.1	7.4	6.9
	高齢者全体	6.3	7.5	7.2	4.7
手段的サポートをくれる相手がいない高齢者 （あなたが病気で数日間寝込んだときに、看病や世話をしてくれる人がいるかの問いに「いない」と回答した高齢者）	65-74 歳	5.3	7.2	4.3	4.9
	75 歳以上	5.6	8.3	3.7	5.5
	高齢者全体	5.5	7.7	4.0	5.2
手段的サポートを与える相手がいない高齢者 （誰かが病気で数日間寝込んだときに、あなたが看病や世話をしてあげる人がいるかの問いに「いない」と回答した高齢者の割合）	65-74 歳	9.8	12.0	11.3	6.9
	75 歳以上	17.8	20.6	16.3	17.2
	高齢者全体	13.8	16.4	13.9	11.7
主観的健康観の高い高齢者 （現在のあなたの健康状態はいかがかの問いに「とてもよい」「まあよい」と回答した高齢者の割合）	65-74 歳	77.9	78.4	80.5	75.4
	75 歳以上	63.3	66.5	65.6	58.4
	高齢者全体	70.6	72.3	72.8	67.4
主観的幸福感の高い高齢者 （あなたは現在どの程度幸せですかの　１０点満点の問いに８点以上の回答をした高齢者の割合）	65-74 歳	45.6	43.8	41.0	50.8
	75 歳以上	41.6	41.7	41.5	41.6
	高齢者全体	43.6	42.7	41.3	46.5

情緒的サポートについては、心配事や愚痴を聞いてくれる人がいない、聞く相手がいない割合は、それぞれ１割を下回っていた。

手段的サポートについては、看病や世話をしてくれる人がいない割合は１割を下回っていたものの、看病や世話をする相手がいない割合は１割を上回っていた。

主観的健康観については、現在の健康状態がよいと回答した者の割合が７割を超えており、主観的幸福感については、現在どの程度幸せか１０点満点評価で８点以上と回答した高齢者の割合が４割を超えていた。

日常生活圏域別に見ると、大きな違いは見られないが、登別東部の割合が多い傾向にあった。

５　介護・介助の状況

（単位：％）

	年齢区分	全圏域	登別東部	登別中部	登別西部
介護を受けている高齢者 （普段の生活でどなたかの介護・介助が必要ですかの問いに「現在、何らかの介護を受けている」と回答した高齢者の割合）	65-74 歳	2.6	2.9	3.5	1.6
	75 歳以上	10.6	10.6	8.1	13.1
	高齢者全体	6.6	6.8	5.9	7.1

介護を必要と感じている高齢者 （普段の生活でどなたかの介護・介助が必要ですかの問いに「何らかの介護・介助は必要だが現在は受けていない」と回答した高齢者の割合）	65-74 歳	4.7	2.9	5.5	5.2
	75 歳以上	14.7	16.5	11.9	16.1
	高齢者全体	9.7	9.9	8.7	10.4

介護を受けている高齢者の割合は６．６％であり、その内４０．６％が一般高齢者であった。

また、介護を必要と感じている高齢者の割合は９．７％であり、その内７５。０％が一般高齢者であった。

日常生活圏域別に見ると、大きな違いは見られなかった。

（単位：％）

	必要な生活支援の内容									
	特にない	買物	掃除	洗濯	調理	ゴミ出し	外出	通院	除雪	草刈
普段の生活で困っていること	48.1	13.8	6.3	2.7	5.2	6.1	8.6	13.0	34.6	17.6
今後５年間において困ること	18.2	39.9	13.9	7.8	12.8	15.0	23.6	40.6	63.6	30.7

今現在、困っていることが特にない高齢者の割合は、４８．１％となっているが、今後５年間において困ることが特にないとした高齢者の割合は１８．２％であった。